

- 東大阪市学校教育基本目標
すべての子どもに生きる喜びとあすをつくる力を
- 東大阪市学校教育重点目標
 - 総合的視点に立つ教育の推進
 - 人間尊重に徹した人権教育の実践
 - 信頼に応える学校園経営
 - 学校園・家庭・地域の協働

子どもが自ら学ぶための『環境』『習慣』『授業』づくり ～東大阪市教育フォーラムより～

平成 28 年 2 月 6 日（土）東大阪アリーナにて、東大阪市教育フォーラムを開催しました。昨年度までの市民会館から、東大阪アリーナに会場を移しての開催となった今回も、約 1000 人の保護者・市民・教職員の参加がありました。



今年度のオープニングは、若江幼稚園全園児による「幼稚園での 1 日」を表現した発表や歌と踊り、八戸の里東小学校 4 年生児童による民舞「エイサー」、弥刀中学校器楽部による楽器演奏、日新高等学校吹奏楽部による楽器演奏が披露されました。元気いっぱいの演技、息のあった踊り、さわやかな音色の楽器演奏、迫力ある吹奏楽演奏に、会場からたくさんの拍手がわき上がりました。幼稚園から高等学校まで、様々な表現活動を通して心豊かに成長する子どもたちの学びの積み重ねを見ることができました。

第一部では、まず、市教委より、平成 27 年度全国学力・学習状況調査



等の結果分析と本市の取組みについて報告しました。本年度の結果から見られる成果や課題と、本市における学力向上の取組みのテーマである「子どもが自ら学ぶための『環境』『習慣』『授業』づくり」の視点から説明しました。また、今後、「校種間連携による学びの連続性を意識した



学習活動」、「家庭学習習慣の定着」、「指導法の工夫改善」について、強化して取り組んでいくことをお伝えしました。

次に、玉串幼稚園・花園小学校・玉串小学校・花園北小学校・花園中学校の花園中学校区より、「ひと自分も大切にする子」を合同共通テーマにした中学校区としての取組みの報告がありました。玉串幼稚園の「小学校の授業や生活を見通しながら、発達や学びの連続性を確保していく取組み」、花園小学校の「子どもたちが自ら課題を選び、学校や家庭で学習する取組み」、玉串小学校の「基礎・基本の定着を図るための放課後サポート学習や、長期休業期間を利用した学習会の取組み」、花園北小学校の「子どもたちが進んで学習に取り組むための『学習の環境づくり』」、花園中学校の『授業規律・授業づくり・学力保障』を三つの柱とした学力向上の取組み」など、各校それぞれの特色ある取組みとともに、校種間連携について力を入れている様子を発表しました。中学校区が一丸となって、子どもの意欲を高めながら、学びの連続性を意識し実践している学力向上の取組みの様子は、他の中学校区にとっても参考になるものでした。



第二部では、京都産業大学の西川信廣教授による、「学校と教師を変える小中一貫教育」をテーマとした講演が行われました。小中一貫教育の有用性について、先進的な実例を示しながら、ご教示いただきました。また、本市の現状を踏まえながら、実践に向けては、「小中一貫教育の目的を共通理解していくこと」から始めていくことが必要であるとの提言があり、小中連携して取り組んでいくことの重要性を再認識する場となりました。



本フォーラムを通して、学校・家庭・地域がそれぞれの立場で考えを深め、連携を強めるための有意義な時間となりました。

巡回相談・巡回指導 ～やった！できた！！～



学校教育推進室では、東大阪市療育センターと協力して下記の事業を行っています。

【巡回相談】

発達障害の診断を受けた子どもを対象に、1ケースにつき年間3回（年度内2回、次年度フォロー1回）実施しています。巡回相談では、発達障がい支援センターPALの児童相談員の先生からのアドバイスをもとに、一人ひとりの特性理解や、その特性に応じた指導方法、教材の活用について、学校園の先生方、保護者とともに考えています。学校や家庭の中で、子ども自身が「やった！できた！」という実感が持てる支援の方法について、明日から即実践できるような具体的なアドバイスをいただいています。

また、支援の必要な子どもだけでなく、全ての子どもたちにとって、過ごしやすい環境づくりや声かけ、指示の出し方等についても助言をいただいています。

【巡回指導】

肢体不自由の子どもや機能面で課題のある子どもを対象に実施しています。理学療法士、作業療法士、言語療法士が訪問し、各学校園の取り組みについて助言を行っています。ちょっとしたコツでストレッチや訓練がやりやすくなったり、教材教具の工夫や机いすの高さを調整するなど、新たな工夫で子どもたちが「やった！できた！」と実感できる環境づくりができます。

今後も子どもたちの障害の状況、ニーズに応じた支援を充実させるために、これらの事業を有効活用ください。

平成27年度愛ガード運動推進委員会全体研修会を開催



平成28年2月22日（月）午後7時より総合庁舎18階大会議室において、各小学校の愛ガード運動推進委員会の委員長、校長先生等にご出席頂き、全体研修会を開催しました。

全体研修会では、はじめに植田教育次長から愛ガード運動の取り組みへのお礼があり、その後、河内警察署生活安全課防犯係長から市内の不審者の発生状況や愛ガード運動により地域の防犯意識が高まっているとの報告がありました。スクールガードリーダーからは、子どもたちとのエピソード、見守りや見回り活動を安全に継続して行なう方法などの話がありました。



大阪府警本部府民安全対策課子どもの安全見まもり隊サポーターからは、府下の見守り活動の報告があり、愛ガード運動は他市にも誇れる素晴らしい活動であるとの話がありました。

研修会の最後には活動報告として、長瀬西小学校愛ガード運動推進委員会の二宮隆夫様より愛ガード運動発足当時の経験や思い、毎日の子どもとの関わりから心温まるエピソードなどの話がありました。

質疑応答では、他の推進委員会の活動について交流する場面もあり、愛ガード運動の取り組みの参考となる全体研修会となりました。

今後も愛ガード運動へのご協力をお願い致します。